

平成26年度の実施状況がB又はCとなった理由等について

理由書(実施状況が「B:目標を下回る」又は「C:中止」となった理由)

6 持続可能な財源基盤の確立【量の改革】

No.	取組業務	平成26年度 実施状況がB又はCとなった理由	今後の取組予定、見直し内容等	所管課
81	後期高齢者医療保険料の収納率の向上 (現年度)	平成26年度からの保険料率の改正に伴い、年金天引きできない方が増えるなど、現年度の収納目標を下回る結果となったため。	引き続き、徴収員の戸別訪問を中心としたきめ細かな納付相談を行う。 また、口座振替を推進し収納率の向上を図る。	保険年金課
		目標収納率 99.14% 実績収納率 98.68%		
82	介護保険料の収納率の向上 (現年度)	平成25年度に比べ、口座振替率が減少したこと、及び、平成25年度は、年に2回の催告書の送付に対し、平成26年度は、年1回の送付だったため。	介護保険の必要性、介護保険法に定める給付制限について周知し、納付指導を強化する。 また、口座振替を推進し収納率の向上を図る。	高齢者生きがい課
		目標収納率 88.7% 実績収納率 88.2%		
83	保育料の収納率の向上 (現年度)	訪問や電話催告を行い計画納付の約束をしていたが、計画どおりの納付がされず、現年度の収納目標を下回る結果となったため。	現年度納付は口座振替の登録を原則とする。また、未納額が増額しないように、分納計画に基づき早めの催告を行うとともに、児童手当からの充当約束を強化する。	子育て支援課
		目標収納率 99.4% 実績収納率 99.0%		
91	後期高齢者保険料の収納率の向上 (滞納繰越分)	現年度分の納付が優先されたことで、滞納額の大きい被保険者が入院や退職したことにより、滞納繰越分の納付が滞ったため。	滞納繰越分保険料の未納者に対し、被保険者証更新時に納付相談を実施する。	保険年金課
		目標収納率 45.86% 実績収納率 38.02%		
92	介護保険料の収納率の向上 (滞納繰越分)	平成25年度は、年に2回の催告書の送付に対し、平成26年度は、年1回の送付だったため。	介護保険の必要性、介護保険法に定める給付制限について周知し、納付指導を強化する。 また、分納指導をし収納率の向上を図る。	高齢者生きがい課
		目標収納率 10.0% 実績収納率 8.3%		
95	学校給食費の収納率の向上 (滞納繰越分)	教職員及び教育委員会職員による訪問徴収を年3回(7~8月・10~11月・2月)継続して実施し、給食費の納付をお願いしたが、結果的に保護者の協力が得られなかったため。	教職員及び教育委員会職員による訪問徴収を年3回(7~8月・10~11月・2月)継続して実施し、給食費納付をお願いしていく。また、給食費を児童手当から支払うことができる申出書の利用を学校を通じて促し、収納率の向上を図る。	教育課
		目標収納率 7.5% 実績収納率 4.74%		
97	下水道使用料の収納率向上 (滞納繰越分)	給水停止実施等徴収強化により、現年度の収納率が向上し、滞納繰越分の調定額が減少したことによって、生活困窮者等の未収入の割合が増加し、滞納繰越分の収納率が目標を下回る結果となったため。	これまでと同様に水道課と連携しつつ、下水道使用料のみの場合は納入催告書を発送して収納率向上を目指す。	下水道課
		目標収納率 43.88% 実績収納率 38.45%		

7 定員管理・給与の適正化【量の改革】

No.	取組業務	平成26年度 実施状況がB又はCとなった理由	今後の取組予定、見直し内容等	所管課
104	職員給与の見直し	人事院勧告を遵守し、適正な給与管理を行ったが、結果として、ラスパイレース指数は100.4となり、僅かに国家公務員の給与水準を上回ったため。	引き続き、人事院勧告を遵守し、適正な給与管理を行い、ラスパイレース指数が100を超えないようにしていく。	秘書政策課
		目標ラスパイレース指数 100を超えない 実績ラスパイレース指数 100.4		